

## 12 主な故障状況と対処方法

本機が正常に動かない場合は、次の表をよくお読みいただき製品を確認してください。

取扱説明書に掲載している部品の交換をされる場合は、交換方法をよくお読みいただき、適切に交換作業を行ってください。以下に記載している対処方法を施しても、なお問題が解決しない場合、また、この取扱説明書に掲載していない部品の交換方法・調整方法につきましては、お買い上げの販売店または弊社技術サービスまでお問い合わせください。また、処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外のお客様はご面倒ですがお買い上げの販売店または弊社技術サービスまでご連絡ください。

**⚠ 警告** 部品交換を行う時は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。

故障修理についてのお問い合わせ先

富士インパルス

修理課（東日本）

千葉県流山市南流山 2-27-6

TEL 04-7178-6402

修理課（西日本）

大阪府豊中市庄内栄町 4-23-18

TEL 06-6335-1234

このような時は	ここを確認してください	対処方法
圧着レバーを押さえても全くシールができない	電源コンセントに電気がきていますか	作業場の電源に電気がきているか確認してください
	電源プラグは確実にコンセントに差し込まれていますか	電源プラグを確実にコンセントへ差し込んでください
	電源プラグが破損していませんか	※電源コードまたは電源プラグを交換してください
	電源コードが断線していませんか	
加熱冷却ランプは赤色に点灯しているが、ヒーターが発熱しない、シールができない	ヒーターが切れていませんか	ヒーターを交換してください
	電極とヒーターの接触が悪くなっていませんか	電極とヒーターの接触する金属部分をサンドペーパーなどで磨いてください
	電極にきているトランスからの黒線が外れていませんか	※電極にきているトランスからの黒線を実際に取り付けてください
	—————	※タイマー内部のトライアックの故障が考えられますので交換が必要です

処置方法の欄に※マークが付いている処置は電気工事・電気機器の取り扱い・修理などに精通されている方が行ってください。それ以外の方はご面倒でもお買い上げの販売店または弊社技術サービスまでご相談ください。

このような時は	ここを確認してください	対処方法
ヒーターが切れやすい	加熱目盛を上げすぎていませんか	シールができる最短の加熱時間に設定してください
	加熱冷却ランプ（赤）の点灯中や、消えてすぐに圧着レバーを上げていませんか (冷却時間が短すぎませんか)	加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピットブザーが鳴ってから圧着レバーを上げてください
	ガラステープやシリコンシートが破損していませんか	ガラステープやシリコンシートを交換してください
シールがきれいにできない	圧着レバーやフレームが熱くなっていませんか (加熱時間が変化しなくても圧着レバーやフレームの温度が上昇すると袋（フィルム）が溶け出すことがあります)	圧着レバー、フレームが冷めるのを待ち、作業間隔を長めにしてご使用ください
	フローガラスシート、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムが破損していませんか	フローガラスシート、ガラステープやシリコンシート、シリコンゴムを交換してください
	加熱冷却ランプ（赤）の点灯中や、消えてすぐに圧着レバーを上げていませんか (冷却時間が短すぎませんか)	加熱冷却ランプの青色が消灯し、ピットブザーが鳴ってから圧着レバーを上げてください
加熱冷却ランプが青色に点灯中、もしくは消灯している時にヒーター、フローガラスシートが焼けてしまう	—	※タイマーの故障が考えられますので交換が必要です
ブザーが鳴り続ける	シール終了後、圧着レバーを下げたままの状態になっていませんか	<p>圧着レバーを上げてください</p> <p>※圧着レバーを上げても、ブザーが鳴り止まない場合は、マイクロスイッチの故障が考えられますので交換が必要です</p> <p><b>⚠ 警告</b> マイクロスイッチの故障が疑われる場合は、直ちにコンセントから電源プラグを抜いてください 圧着レバーを下げなくても、電源プラグを差し込むだけですぐに加熱が開始し、大変危険です</p>

このような時は	ここを確認してください	対処方法
冷却終了時にブザーが鳴らない	—————	<p>下記の動作を行ってください</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 加熱時間調整ツマミを一番左(目盛り 1) まで回してください</li> <li>2 圧着レバーを止まる位置まで押し下げ、シールを行ってください</li> <li>3 加熱冷却ランプの青色が消灯してから 2 秒以内に加熱時間調整ツマミを目盛り 5 より右側に回してください(この時、圧着レバーは押し下げたまま)</li> </ol> <p>動作終了後、ピッとブザーが鳴れば完了です</p> <p>通常のシール動作を行い、冷却終了時にブザーが鳴ることを確認してください</p>

### 13 電気回路図

